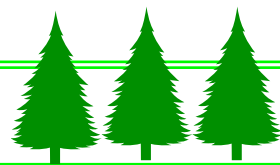




みつぎ便り



第227号 8月号 令和7年8月1日発行 http://itbs-ecopo.jp/environsurvey_report

板橋区役所南部土木サービスセンターの花づくりグループとエコポリスセンターのかんきょう観察員地域自主活動グループに所属しているボランティア団体「見次の会」です



夏休み特集

蜻蛉とんぼ

トンボの語源には「飛ぶ棒」が転じたという説と「田んぼ」という言葉が訛ったという説が一般的です。後者の語源からも田んぼとトンボとの間には深い関係があり、溜池、水路、水田により形成される様々な水環境に適応した多様なトンボ類が生息しています。

トンボの卵は直接水の中に産み落とされるもの、湿った地面にばらまかれるもの、植物の中に産み付けられるものなど様々です。卵から、やがて幼虫が出てきたら孵化ふかです。孵化までの期間は、十日前後から百日以上のものまで様々です。幼虫のヤゴの殆どが水中で生活し、種類によつて様々な形をしています。ヤゴは枯れ葉や泥に隠れ、ミジンコ類やユスリカの幼虫、小魚などを捕食し



ます。ヤゴは十回前後の脱皮をして成長します。幼虫の期間は短いもので一ヶ月、長いもので五年以上と種類によつて様々です。

トンボは蛹さなぎの期間がなく、幼虫から直接成虫になる「不完全変態」の昆虫で、成長した幼虫は水中からはいだし石や植物に捕まって最後の脱皮、羽化をします。羽化に要する時間は短いもので三十分、三時間以上かかるものもあります。

羽化してもしばらくは交尾や産卵などの生殖活動は出来ない未成熟期で、水辺近くの草むらや林でカ、ハエ、チョウ、ガなどを捕食しています。未成熟期の長さも種類によつてまちまちで、数日から長いものでは成虫で越冬する種類もあります。未成熟期を過ぎ、成熟したトンボは繁殖のため水辺に戻ってきます。



雄は水辺で縄張りを作ったり、パトロール飛翔し産卵に来る雌を待ちます。雄は産卵する時だけ水辺に現れる雌を見つけると、腹部の先にある尾部付属器で雌の後頭部や前胸をはさみます。雌は腹部の先端にある生殖器官を、雄の胸部の先にある副性器に当てがい、リング状（種類によつてはハート状）になつて交尾します。交尾にかかる時間は様々で、ほんの数秒で終わる種類から、枝に止つて数時間にわたり交尾する種類もあります。交尾が終わると雌は水辺に産卵します。

このようにとんぼの一生には、豊かな水辺環境、餌となる虫などが育つ豊かな自然が必要です。いつまでも多くのトンボが見られるよう、自然の保全に努めたいものです。

(薫)

